

牛若丸

帝キネ芦屋時代映畫

脚色者 木村一馬氏
監督者 古海卓二氏
撮影者 大森勝氏

主要役割

牛若丸 市川百々之助氏
深栖頼重 明石緑郎氏
金商人吉次 片岡紅三郎氏
武藏坊辨慶 阪東豊昇氏

熊阪長範 東真之助氏
堀川鬼一法眼 市川孤藏氏
浄瑠璃姫 山下澄子嬢
皆鶴 芦屋桃子嬢

解説——「青年馬説」について古海卓二氏が目下大阪朝日新聞連載中の實井馬琴氏講演一九郎判官」を改題して監督製作したものである。
略筋——牛若丸は鞍馬山に籠り密に腕を練り源家再興の機を待つてゐたが、源家恩顧の土曜原季衛よりの迎を受け奥州へ向ふ途中、熊阪長範を討ち元服して源九郎義經と改めた。季衛は義經をして京八郎の達人前原筑前守につき武道の奥義を究めさせた。再び京師に上り堀川鬼一法眼につき六踏の兵法を學んだ。其頃武藏坊辨慶は百日千本の刀を得ば源家再興疑ひなしと石清水八幡宮へ祈つた。そして闖ち義經に出合ひ主従の喜びはたさへんものもなく、折柄の旭日を拜し武運長久を祈るのであつた。

